

CPM (Capacitor Potential Module) 回路、モジュール、Pat No 3133340号

最新のテクノロジーを使い、直流電源回路の回路内をコントロールし、直流電源回路のコンデンサの特性を引き出します。

動作原理

CPM (Capacitor Potential Module) CPMの特性をHP社製4800A型ベクトルインピーダンスメーターで測定すると、

真空管アンプの直流回路でインピーダンスの高い回路では、B+用 (CP-3045H) は810Hzが純抵抗特性、810Hzより低い周波数では35度のL分を持った抵抗、810Hzより高い周波数ではC分を示すそしてこのCは抵抗分を含み50KHzで完全なコンデンサ、500pFのコンデンサ特性を示します、また、アノードからカソードに電流を流すSBD特性も兼ねそなえています、

効用としては電源側からのSBD、Di、Cから発生する交流成分の高周波ノイズをアースに流すパスコンの役目と負荷側アウトプットトランス、スピーカーからの逆起電圧を-側から+側に回生させる、理想のローパス、ハイカットの役目をします。

インピーダンスの低い回路、ヒーター、半導体AMP用回路では、(CP-3006H) は80Hzが純抵抗特性、80Hzより低い周波数が15度のL分を持った抵抗、80Hzより高い周波数ではC分を示す、そしてこのCは抵抗分を含み20KHzで完全なコンデンサ、6000pFのコンデンサ特性を示します、SBD特性は低リーク、理論限界値に近いVF特性です、CPMは電源側が発生する交流成分高周波ノイズをアースに流すパスコンの役目、また交流成分のリプル、音声信号等の電流が負荷回路

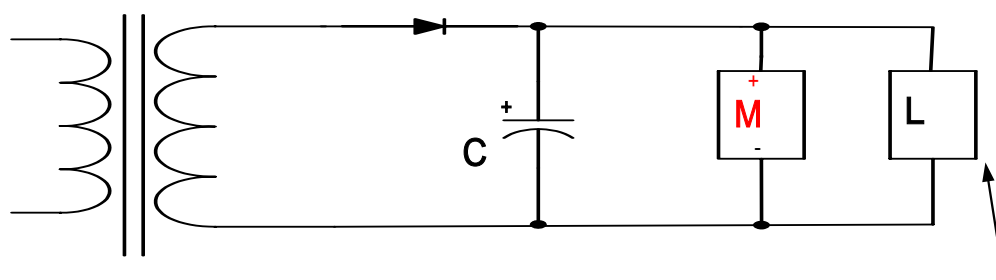
(.数mオーダ)のインピーダンスを持つ回路に流れると逆起電圧が発生します、これを電流として回生する役目をします。

結果

直流電源回路での過渡現象を抑えると、一時的な回路の瞬断状態がなくなることで、低域のドライブ能力が上がり、尾を引く現象が全くなりきれの良い低音が再生されます、高域は高調波ノイズ成分が減ることで、今まで体験出来なかった倍音再生が出来、音楽を聴く楽しみが増えます。



Di CPM (Capacitor Potential Module)



パワーAMP用 大電流CPM(60A、~210A)

価格は電流で異なります、耐圧30V~100Vは同じ価格、SPは16ゲージ、MIL-SPEC、銀メッキ、テフロン線

ホームオーディオAMP用は100Vタイプ

車載用は60Vタイプ

ホームオーディオ24V以下は30Vタイプ

お薦めは90A以上が良いと思います。

CP-6003HCSP	CP-6006HCSP	CP-6010HCSP	¥5,400-
CP-9003HCSP	CP-9006HCSP	CP-9010HCSP	¥7,600-
CP-12003HCSP	CP-12006HCSP	CP-12010HC	¥9,800-
CP-15003HCSP	CP-15006HCSP	CP-15010HC	¥12,000-
CP-21003HCSP	CP-21006HCSP	CP-21010HC	¥20,000-

*表示価格は本体価格です。

回路上にコイル成分を含んでしまう負荷 (基板,配線等)

A & R Lab

住所 〒257-0001 秦野市鶴巻北3-10-23

TEL、FAX 0463-76-9606

mail : sdegawa@mvd.biglobe.ne.jp

A社 新製品AMP試作構想

